

Cisco WebEx 会議マネージャ ActiveX コントロールの脆弱性

Critical アドバイザリーID : cisco-sa-20080814-webex [CVE-2008-3558](#)
初公開日 : 2008-08-14 22:30
バージョン 1.3 : Final
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

WebEx 会議マネージャが使用する ActiveX コントロールで存在するバッファオーバーフローの脆弱性。この脆弱性の不正利用はリモート攻撃者がユーザクライアントマシンの任意のコードを実行することを可能にする可能性があります。Cisco WebEx 会議サービスによって提供される WebEx 会議マネージャはクライアント側のプログラムです。Cisco WebEx 会議サービスは自動的にユーザが会議を始めるか、または加わる最初に会議マネージャをダウンロードし、インストールし、設定します。

ユーザが WebEx 会議サービスに接続するとき、WebEx 会議マネージャは最新バージョンに自動的にアップグレードされます。WebEx 会議サービスに接続ユーザ向けに利用可能な手動回避策があります。

Cisco WebEx は影響を受けたファイルの修正済みバージョンとの会議サービスインフラストラクチャのアップグレードの過程においてあります。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20080814-webex> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

WebEx 会議マネージャは参加要素に会うことに WebEx 会議に加わる前に複数のコンポーネントをダウンロードします。この Security Advisory の脆弱性は *atucfobj.dll* ライブラリに影響を与えます。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.3	2008- August-29	ソフトウェア修正プログラム セクションへのアップデートおよびソフトウェア 命名スキームへのアップデート。
リビジョン 1.2	2008- August-18	更新済 CVE 識別子。
リビジョン 1.1	2008- August-15	AMB リンクの付加、サイト用語の調整、および詳細 セクションのレガシー ソフトウェア影響のアップデート。
リビジョン 1.0	2008- August-14	初版リリース

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。